



ザンビアの経済概況・月報(2013年11月)

主なマクロ経済指標	2012年	2013年
1. 人口 (百万人)	13.82	13.9 (2013 est)
2. 人口増加率 (%)	2.8	2.8 (2000~2010)
3. 失業率 (%)	7.8	-
4. 平均寿命 (年齢)	-	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	20,680	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	23,680	21,360 (2013 est)
7. GDP成長率 (%)	6.1 ~ 6.5	6.9 (2013 est)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1	-
9. インフレ率 (%)	6.57	7.0(Nov)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	126.1 (Dec)	133.82(Nov)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	1,067	8.08 (Oct)*2
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-97.48*4	-5.91 (Oct)*3
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	8,346	972.37 (Oct)*2
14. 対日輸出 (百万米ドル)	50.45*4	2.75 (Oct)*3
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	7,279	964.29 (Oct)*2
16. 対日輸入 (百万米ドル)	147.94*4	8.65 (Oct)*3
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,048	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	3,448 (2011)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	12,932 (2011)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,616 (2012末)	-
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	5,445 (2012末)	-
22. 為替レート (対米ドル)	5,100 ZMK	5.52 ZMW(Nov)*5
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.09	9.75 (Nov)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 購買力平価 (PPP)による一人当たりGNI
*2 1USD=5.32 ZMW (2013年10月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*3 1USD=98円 (2013年10月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*2' <2013年10月>
/'3 主要輸出品目: 銅/コバルト/マンガン, 硫酸, 硫黄, 金(半製品), タバコ, セメント, 綿花.
主要貿易相手国(輸出): スイス 39.1%, 中国 27.0%, コンゴ(民) 9.9%, 南アフリカ 8.7%, アラブ首長国連邦 3.4%.
主要輸入品目: 銅/コバルト関連品, 軽油, 機械類, 建造物関連, ガソリン.
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 29.4%, コンゴ(民) 17.4%, 中国 10.3%, ケニア 7.9%, インド 4.2%
*4 1USD=79円 (2012年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*5 2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK (旧通貨) = 1 ZMW (新通貨)へと通貨単位が変更となった。

<出典>
1.-2., 5.-7.: Country Report 2013 (EIU), The World Factbook (CIA) / 3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO&Ministry of Labour and Social Security) / 4. Census 2010 / 8. UNDP Human Development Report / 9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO) / 12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 / 17., 20.-21.: The World Factbook (CIA) / 18.-19.: UNCTAD / 22.-23.: Bank of Zambia

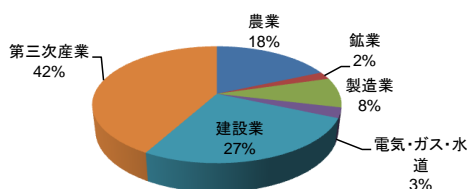
<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採取産業透明性イニシアティブ (ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税 (VAT):** 16%。
- 探掘権料(Mineral Royalty):** 6%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0 - 25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、探掘や鉱業関連の活動に必要なとされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPのセクター別構成比(2012)



(出典: ザンビア中央統計局 (CSO) データから当館作成)

主要な経済ニュース(11月)

- “政令第89号の取消しは、国庫への歳入遅延を生じさせる可能性あり- チクワンダ財務大臣” (Post, 2日)**
チクワンダ財務大臣は、(先月発表された)政令第89号(SI89)が無効となったことでザンビア政府の歳入が減るものではないが、現状のように未加工の鉱物資源が蓄積されることによって政府がこうした鉱物資源から歳入を得られるまでに更に時間がかかる可能性があると述べた。
- “ザンビア政府、25.5億米ドル相当のユーロ債発行へ” (Post, 2日)**
IMFの報告書によると、ザンビアは今後5年間で50億米ドルの借入れをすることから、2014年~2018年の間に25.5億米ドルのユーロ債を発行予定。同債券発行による収入は、ザンビア政府のGDP比8.5%にのぼる財政赤字(政府の当初予測は同比4.5%であった)を補填するものとなる。
- “サタ大統領、コンコーラ・コッパー(KCM)社に警告” (Times, 5日)**
4日、サタ大統領は閣議の場で、コンコーラ・コッパー(KCM)社による大量解雇が明るみになった場合には鉱山ライセンスを無効にすると発言した(サタ大統領の同発言は、1日にKCM社が1,529人の労働者を解雇する旨を発表したことを受けたもの)。また大統領は、ザンビア政府がザンビアの被雇用者の利益のためには、いかなる脅しにも屈しない姿勢でいると述べた。
- “ザンビアの対外債務残高、32億米ドルに” (Times, 7日)**
ムカタ財務副大臣は、ザンビアの対外債務残高が2011年9月の17億米ドルから、2013年9月1日時点では32億米ドルに、国内債務残高は2011年9月の138億クワチャから、2013年9月1日には178億クワチャとなり、いずれも増加していると国民議会の場で述べた。同大臣はまた、財務省は債務管理戦略(Debt Management Strategy)に則って毎年ザンビアの債務維持管理能力と新規借入れ可否に係る財務余力の分析を行っているとも述べた。
- “クマールKCM社長、入国禁止に” (Times, 11日)**
政府報道長官のカベヤ情報放送大臣は10日、ザンビア政府がキショール・クマールKCM社社長を入国禁止処分にしたことを発表し、今後クマール社長はザンビア入国を許されないと述べた。
- “ザンビア中央銀行、更なるザンビア・クワチャの下落を阻止” (Post, 14日)**
11日、ザンビア中央銀行(BOZ)の介入により、ザンビア・クワチャの2週間にわたる下落に歯止めがかかった。市場関係者によると、ザンビア・クワチャが急激に下落した理由として、財政赤字の拡大を受けて大手格付会社2社が相次いでザンビア国債の格付けを引き下げたこと、サタ大統領によるKCM社の鉱山ライセンス取り上げ報道が影響している。格付けが引き下げられる前(10月25日付)の為替レートは、1ドル=5.28クワチャだったが、現在は1ドル=5.55クワチャまで下落している。
- “アフリカ開発銀行、教育分野で3,360万米ドル融資へ” (Times, 26日)**
アフリカ開発銀行の理事会は、ザンビアにおける科学技術教育プロジェクトに対して3,360万米ドルの融資をする旨決定した。同融資は、ザンビア政府が雇用促進のための技能開発に充てることを目的とする。
- “賛成多数、国民議会で対外債務上限額引き上げへ” (Daily, 28日)**
27日、国民議会は、ザンビア政府による対外債務上限額引き上げ(200億クワチャから350億クワチャへ)の提案を承認した。本提案は野党の反発を受けていたが、投票により可決。チクワンダ財務大臣は、従来の対外債務上限額(200億クワチャ)は、1998年の「Loans and Guarantees (Maximum Amounts) (Amendment) Order」に係る政令第53号により規定されているが、(現状の対外債務残高164億クワチャに鑑みると)従来の上限額では、国家開発のためには不十分であると述べた。
- “中央銀行、1億8,400万米ドル相当の直接投資を記録” (Daily, 28日)**
ザンビア中央銀行(BOZ)は、2012年の直接投資に関し、製造業、鉱業に続いて金融業が3番目に多くの直接投資流入を記録し、総額およそ1億8400万米ドル相当であったと発表した。
- “輸出市場を活用すべき” (Times, 28日)**
27日、ルサカ市内で開催されたビジネスフォーラムにおいて、チブウェンデ・ザンビア開発庁(ZDA)長官は、ザンビア政府のビジネス環境改善及び輸出品の多様化の取組にも関わらず、銅以外の非伝統的輸出品(NTEs)の輸出に係るビジネスをしている企業は、ZDAの下で登録されている全10万社のうちの僅か163社であると述べた。
- “綿花の生産量、前年比48%減少” (Times, 28日)**
2013年のザンビアにおける綿花の生産量は、前年の27万5,000トンから48%減少した10万トンであった。前年の価格低下を受けて、綿花の栽培面積が減ったことが影響している。
- “ザンビア政府、ムクバ・テキスタイルズ社への投資を呼びかけ” (Times, 29日)**
チェンダ商業通商産業大臣は、綿工業を再活性化するために、数年前から閉鎖されているムクバ・テキスタイルズ社とスワープ・ミルズ社の2社に対する国内外からの投資を呼びかけた。ザンビア政府は、2社が閉鎖されたことによる綿工業のパリユール・チェーン縮小を懸念しており、国内外からの投資により、綿工業における生産から綿織りまでのパリユール・チェーンが再構築されることを期待していると述べた。